

報道関係 各位 ※このリリースは複数の部署にお送りしています。

2014年6月11日

明治大学研究・知財戦略機構 研究成果活用促進センターの入居者募集 ～明大の研究シーズ、事業化企業等求む～

明治大学研究・知財戦略機構の下に設置されている「明治大学研究成果活用促進センター」（東京都千代田区）では、本学の研究成果（研究シーズ）*を活用した事業に取り組む企業や団体等を募集しています。

明治大学研究・知財戦略機構は、世界のトップユニバーシティを目指し、世界水準の研究拠点の育成や研究の国際化を推進しています。「研究成果活用促進センター」は、研究・知財戦略機構の下、本学の研究成果等の活用支援を目的に設立されました。現在、同センターには、5つの研究所や企業が入居しており、明治大学の研究者と共に、地域活性化と観光戦略、知的情報と市場のマッチング、公共事業の社会的価値評価などをテーマとした各種事業に取り組んでいます。

■明治大学研究成果活用促進センター入居者募集要項（抜粋）

入居募集施設 2室（いずれも 31 m²）

明治大学駿河台キャンパス（千代田区神田駿河台 1-1）
グローバルフロント 7階リエゾンラボラトリー
407F および 407G

利用料 月額 106,000 円（消費税、諸費用別）

入居期間 原則として 2015 年 3 月末まで
（最長 6 年度を限度として延長可）

申込期間 2014 年 6 月 20 日（金）まで ※郵送必着

募集対象者 ①明治大学の研究成果を活用する学外の方
②研究成果の活用を目指す本学の教職員及び大学院学生

※次ページ以降に記載のない研究シーズ（人文・社会科学系含む）の活用も可

申し込み方法 利用申請書に基づく書類審査、プレゼンテーションによる審査を行い、利用可否を決定。その他詳細については「明治大学研究成果活用促進センター入居者募集要項」
http://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.html をご覧ください。



研究成果活用促進センターが入居するグローバルフロント（駿河台キャンパス）

◇入居または研究シーズに関する問い合わせ

明治大学研究推進部研究知財事務室 担当：西村 電話：03-3296-4361

◇取材の問い合わせ

明治大学経営企画部広報課 担当：花城^{はなしろ} 電話：03-3296-4330

* (参考) 明治大学研究者が共同研究、産学連携を希望する研究シーズ

☞ <http://www.meiji.ac.jp/tlo/seeds.html>

理工学部

	研究シーズ	研究者
1	タンパク質を利用したナノ粒子の生成	吉村英恭
2	テラヘルツ領域における高精度・高分解能分光	小田島仁司
3	音響キャビテーションの発生と観測、ソノルミネセンス	崔博坤
4	変分法に基づく電力・エネルギーシステムの最適計画・運用・制御手法の開発	熊野照久
5	EL 素子を用いた高効率光源	三浦登
6	酸化物薄膜	〃
7	フォトニック結晶の作製	〃
8	有機薄膜	〃
9	環境考慮型半導体	〃
10	無機薄膜 EL 素子を用いた低電力・大画面ディスプレイ	〃
11	高性能永久磁石材料の開発	小原学
12	生体情報計測による「痛み」や「違和感」を可視化する診断支援システムの開発	小野弓絵
13	デジタル信号処理に関する研究	石田義久
14	光任意波形発生技術・光多値変復調技術	中村守里也
15	高速パターンマッチング回路	笹尾勤
16	ウェブ技術、特に RIA 技術	疋田輝雄
17	建物内床上の家具、食器棚、電化製品などの耐震安全装置・転倒防止器具の開発と耐震性能評価	荒川利治
18	観光用、通信用、風力発電用など各種高層塔状建造物の振動測定と耐震耐風性能評価	〃
19	振動測定に基づく各種建造物の耐震性能評価と構造ヘルスマニタリング	〃
20	建築設備に関する評価等	坂上恭助
21	高反射率塗料によるヒートアイランド現象の低減効果の検証	酒井孝司
22	非定常気流・温熱環境解析手法を用いたバーチャルハウスシミュレータの開発	〃
23	可変剛性機構を用いたセミアクティブ振動制御	阿部直人
24	粘弾性ダンパーによる電車線柱の減衰性能向上	松岡太一
25	地震対策用仕口補強制振ばねダンパの開発	〃
26	発電式振動抑制装置の開発	〃
27	可変慣性質量効果をもつ振動抑制装置の開発	〃
28	弱冷風加工法の開発	土屋一雄
29	容積型機械の作動状態モニタ装置の開発	〃
30	車載型図示平均有効圧モニタ装置の開発	〃
31	超イオン伝導体中におけるイオン伝導機構の解明	圓谷和雄
32	雑音環境下での AE 計測による機械・建造物の健全性診断技術	松尾卓摩

33	機械や構造物を構成する部材や材料の変形や破壊・強度の評価	納富充雄
34	ウルトラバリア性プラスチック材料の創製	永井一清
35	養殖場や水族館の水中酸素濃度コントロール用機能膜の創製	〃
36	ジュース・サラダオイル・医薬品からの脱酸素用機能膜の創製	〃
37	カシューナット殻オイルの利用研究	宮腰哲雄
38	合成漆の開発研究	〃
39	光学活性ラクトン類の合成	〃
40	天然漆利用に関する研究	〃
41	固相抽出ディスクを用いた環境水中の放射性同位体分析	小池裕也
42	南極氷床中の分子拡散	深澤倫子
43	ポリマー中の分子拡散	〃
44	クラスレート・ハイドレートのゲスト-ホスト相互作用	〃
45	環境調和型高選択的有機合成反応の開発	倉田武夫
46	生体吸収性アパタイトファイバーを足場とした肝再生およびその医療用デバイスとしての応用	相澤守
47	高度ガン治療を指向する生体吸収性セラミックス微小球の開発とそのドラッグデリバリーシステムの確立	〃
48	生体活性テラードマテリアルの創製と医療用デバイスとしての応用	〃
49	硬組織再生を誘導する新規なスキャフォールドの開発と応用	〃
50	水熱法、ソルボサーマル法によるナノ粒子合成	渡辺友亮
51	結晶性セラミックス膜のダイレクトパターンニング	〃
52	環境安定型ナノ金属磁性体	〃
53	複合窒化物および複合酸窒化物の低温合成とその物性評価	〃

農学部

	研究シーズ	研究者
54	食品加熱香気成分の呈味への寄与	早瀬文孝
55	メイラード反応生成物の生理作用	〃
56	メイラード反応の化学的解析	〃
57	タンパク質栄養による内分泌制御に関する研究	竹中麻子
58	抗酸化成分による不安制御に関する研究	〃
59	食品のおいしさを食品構造から追究 ～食品構造工学の確立～	中村卓
60	Nutrient pollution in agro-ecosystems	マクタガート, イアン・ピーター
61	農業から環境汚染を抑制する	〃
62	市民、行政、研究者等の協働による環境管理団体のコーディネート	倉本宣
63	下垂体発生のホルモン遺伝子発現のプログラム	加藤幸雄
64	プラナリア再生能を指標とした類縁化合物間の毒性評価	吉田健一
65	G タンパク共役型受容体を中心とした情報伝達機構と生体機能の解析	戸村秀明

66	新規のプロバイオティクスやプレバイオティクスの開発	浅沼成人
67	消化管微生物による共役リノール酸生成の増強	〃
68	腸内細菌による乳酸および酪酸生成の制御	〃
69	ルーメン細菌における乳酸生成の制御	〃
70	メイラード反応抑制剤の探索	渡辺寛人
71	腸管上皮細胞が産生する新しいタンパク質について	〃
72	オミックス情報からの低コスト・迅速・ハイスループットな遺伝子探索法の開発	矢野健太郎

総合数理学部

	研究シーズ	研究者
73	顔画像美観化処理システムの開発	荒川薫
74	デジタル動画像における画質改善	〃
75	音声・音信号の雑音除去を目的とした非線形デジタルフィルタ	〃
76	乳幼児の音声解析システム	〃
77	結晶デザイン	砂田利一
78	自己組織化機構の新たな応用開発	上山大信
79	非線形偏微分方程式の医療応用	二宮広和
80	ハーフトーン処理、逆ハーフトーン処理に関する研究	田中賢一
81	計算機ホログラムからの三次元像再生	〃

先端数理科学研究科

	研究シーズ	研究者名
82	金融・経済リスクの統計的モデリング	田野倉葉子

農場

	研究シーズ	研究者名
83	有機性廃棄物亜臨界処理物の農業利用	藤原俊六郎